

# 練馬小学校

# 学校だより

令和2年7月31日

夏休み号

練馬区立練馬小学校

校長 関根 信人

## 希望をもって

校長 関根 信人

6月1日に分散登校から始まった1学期でしたが、本日無事終了いたしました。この2か月、子供たちは、感染症防止の新しいルールを理解し、活動の制限がある中でも明るく、笑顔を絶やさず、元気に学校生活を送ることができました。これも、毎日の検温や健康観察をはじめ登校班の見守り等ご家庭のご理解、ご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

7月23日に競泳の池江璃花子さんが全世界に向けてスピーチをしました。感動された方も多かったのではないかと思います。終業式で子供たちに、メッセージに触れて話をしました。

明日の今ごろ、この国立競技場ではTOKYO 2020の開会式が華やかに行われているはずでした。私も、この大会に出るのが夢でした。その大きな目標が目の前から、突然消えてしまったことは、アスリートたちにとって、言葉にできないほどの喪失感だったと思います。私も、白血病という大きな病気をしたから、よくわかります。思っていた未来が、一夜にして、別世界のように変わる。それは、とてもきつい経験でした。

今から、1年後。オリンピックやパラリンピックができる世界になっていたら、どんなにすてきだろうと思います。今は、一喜一憂することも多い毎日ですが、一日でも早く、平和な日常が戻ってきてほしいと、心から願っています。逆境からはい上がっていく時には、どうしても、希望の力が必要だということです。希望が、遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくても、前を向いて頑張れる。私の場合、もう1度プールに戻りたい。その一心でつらい治療を乗り越えることができました。

—池江璃花子さんのスピーチより—

池江さんは、多くの日本新記録を出し、東京オリンピックでの活躍が期待されていた選手です。それが、夢まであと一歩で手が届くというときに、突然、白血病を発症し、水泳どころか日常生活もできなくなってしまったのです。その時の悔しさ、悲しさ、絶望感がどれほどだったかは計り知れません。でも決してあきらめることなく、病気と向き合い、辛い治療を乗り越えて練習を再開しています。練習はどんなにきつくても、水泳のできる事がとても幸せだそうです。

さて、明日から23日間の夏休みが始まります。新型コロナウイルスの勢いはまだ収まりません。しばらくはコロナ前の生活は望めませんが、池江選手のように希望をもって、今は力を蓄えていく時なのかもしれません。いつもより短い夏休みですが、健康に気を付けて楽しい夏休みをお過ごしください。2学期の始業式に子供たちの元気な笑顔に会えるのを楽しみにしています。

### <お知らせ>

- ・夏季休業中に実施していた、青少年委員会第四地区主催の「ラジオ体操のつどい」・PTA主催の「葉かげの集い」は感染症拡大防止のため中止となりました。
- ・9月12日(土)の引き渡し訓練は、1年生のみ実施します。
- ・2学期以降の学校公開日等の実施については現在のところ未定です。
- ・夏季休業中に、児童が新型コロナウイルスに感染した疑いがありPCR検査を受ける場合、また、検査結果について、学校にお知らせください。

※学校の電話受付は、平日の午前8時15分～午後4時45分です。

土日および8月11日(火)から14日(金)の学校休務日以外にご連絡ください。

